第 1 回 定 例 教 育 委 員 会 会 議 録

１．招集日時　　令和８年１月１３日（火）午後４時３０分

２．招集場所　　七飯町文化センター２０１会議室

３．出 席 者

教　育　長	悟　楼　　司
委　　員	加屋本　　旬
委　　員	信　夫　恵美子
委　　員	木　村　　希
委　　員	財　津　英　明

４．事 務 局

教育監兼教育総務課長	磯　場　嘉　和
学校教育課長	柴　田　　憲
生涯教育課長	花　巻　　亘
スポーツ振興課長	髙　橋　雅　貴
学校給食センター長	福　永　崇　弘
教育総務課庶務係長	蛯　子　拓　弥
教育総務課庶務係	村　越　睦　実

５．教育長の報告　報 告 第 １ 号　　教育行政動向報告（１２月１日～１月１３日分）

６．附議事件　　議 案 第 １ 号　　令和７年度教育費補正予算に係る専決処理について

７．閉　　会　　午後５時２０分

８．会議の大要　　会議の大要は別紙のとおりである。

９．署　　名　　教育長　　悟楼　司

委　員　　財津　英明

調整者　　村越　睦実

別紙

■俉楼教育長

○　開会宣言　午後４時３０分

○　本日の傍聴人は１名。

○　まず、日程第２、会議録署名委員の指名について、財津委員を指名する。

○　次に日程第３報告第１号、教育行政動向報告について報告する。

○　１２月１日、令和７年第１２回定例教育委員会議を文化センターで開催し、教育行政動向報告及び附議案件３件を審議し、原案のとおり承認した。

○　１２月３日、七飯町郷土史研究会の令和７年度第３７回七重学校卒業式・閉講式が文化センターで開催され、教育長が出席し祝辞を述べた。今年度は、１３名の方が卒業された。

○　１２月４日から５日にかけて、公益財団法人北海道青少年育成協会が主催する「こどもまんなか」絵画コンクールにて、町内から入賞した８名に対し、教育長が各校へ赴き賞状を授与した。入賞作品については、各振興局で順次作品展で展示され、渡島地区の作品展については、令和８年１月１４日（水）から２０日（火）まで渡島総合振興局にて開催する予定となっている。入賞者については記載のとおり。

○　１２月５日、令和７年度七飯町ＰＴＡ連合会主催の研究大会が文化センターにて開催され、来賓として教育長が出席し、開会式にて祝辞を述べた。

○　１２月８日から１０日にかけて、令和７年第４回七飯町議会定例会が開催され、教育長ほか教育委員会管理職が説明員として出席した。
　教育委員会関係では、補正予算において原料価格やエネルギー価格の高騰による教育施設で使用する燃料費、電気料金の増額補正、教育施設修繕に伴う修繕料等を提案し可決された。また、町内パークゴルフ場の指定管理者の指定についても審議され、原案のとおり可決された。

○　１２月１２日、函館七飯スノーパークを運営する株式会社鈴木商会様より、スキー場リフト１日利用券とカレーランチ１食分の無償チケット計１，３００名分の寄贈があった。寄贈のあったチケットは、町内の小・義務教育学校の児童に配布している。

○　１２月１４日、七飯町文化協会主催事業として、ギタリスト村治佳織氏のギター・リサイタル in 七飯が文化センターにて開催され、クラシックからゲーム音楽まで幅広いジャンルの演奏に、６３５人の聴衆が酔いしれた。

○　１２月１５日、「夢のあるまち」七飯町プロジェクト交流会が文化センターで行われた。七飯町内の中・義務教育学校と七飯高校の生徒代表らが七飯町のことについて考えてきたことを発表し、話し合うもの。今年は新たな取り組みとして七飯高校の生徒が初めて総合司会を行い、町長、教育長、教育委員が出席の下、意見交流では活発な意見が交わされた。

○　１２月１６日、１２月の定例校長会議を文化センターで開催し、教育長、教育委員会管理職

及び学校教育指導主事ほかの出席の下、２事項について情報提供を行った。

○　１２月１７日、渡島教育局主催の渡島管内市町教育委員会教育長会議がオンライン（Zoom）にて開催され、教育長が出席した。

○　同日、姉妹都市であるアメリカ・マサチューセッツ州コンコード町への海外交流派遣事業（昨年１０月２７日から１１月７日）へ参加した町内中・高生による七飯町中高生海外交流派遣研修事業報告会が文化センターで開催され、教育長が出席した。

○　１２月１９日、１２月の定例教頭主幹教諭会議を文化センターで開催し、教育長、教育委員会管理職及び学校教育指導主事他が出席の下、定例校長会議と同様の事項について情報提供を行った。

○　同日、第５０回「小さな親切」作文コンクール審査報告・表彰式が函館市役所で行われ、教育長が出席した。応募数１０５編のうち、七飯町からは資料に記載の４名が入賞した。

○　１２月２０日、親子でクリスマスを楽しむ「子どもクリスマスのつどい」を文化センターで開催した。親子連れなど８組２５名が参加し、ペーパークラフトのクリスマスツリーづくりやクリスマスソングに合わせた手遊びなどで大いに盛り上がった。

○　１２月２１日、低学年の部、高学年の部及び中学生の部合わせて１４チーム５４名の参加のもと、第４３回七飯町地域子ども会対抗かるた（百人一首）チャンピオン大会が開催され、日頃の練習の成果を発揮した熱戦が繰り広げられた。大会開催にあたり、教育長より開催あいさつを行った。

○　１２月２４日、小・中学校及び義務教育学校において、２学期の終業式が行われ冬季休業に入った。３学期の始業式は１月１４日に行われる。

○　１２月２４日から２５日にかけて、北海道七飯養護学校の再整備要望の地元教育委員会意見聴取が、北海道教育委員会本庁（札幌市）で行われ、教育長が出席した。教育長からは、入学者の増加による施設の手狭感に加え、子どもたちが普段過ごす空間であることから早期解消を要望した。

○　１２月２６日、臨時校長会議を文化センターで開催し、教育長、教育委員会管理職が出席の下、２事項について情報提供を行った。

○　同日、特定非営利活動法人ＴＧＰ様より、町内学校児童生徒へ生理用ナプキン１年分等の寄贈があった。本事業は、昨年８月に北海道カントリークラブ大沼コースで開催された、女子ゴルフ大会「ニトリレディスゴルフトーナメント」にて実施されたチャリティによるもので、小学５・６年生及び中学生の女子児童生徒が対象となっている。寄贈の生理用品等は、町内の各学校に配布させていただいた。

○　１月５日、侍ジャパン女子日本代表選手として選出され、第４回ＢＦＡ女子野球アジアカップに出場し優勝に貢献した、大中山中学校出身の金田涼々さんの七飯町特別スポーツ栄誉賞表彰式が役場本庁舎にて執り行われ、教育長が出席した。

○　１月７日、毎年恒例の南渡島消防事務組合七飯消防出初式が役場駐車場及び文化センターで

開催された。役場駐車場では、入場行進や伝統のはしご乗り演技の披露が行われ、文化センターでは、表彰状授与が執り行われた。

○　１月７日から９日にかけて、七飯町小学生スキー教室を３日間、函館七飯スノーパークで開催し、１０９名の児童が受講した。教室では、七飯スキー連盟等の指導者２６名が講師となり、スキーの技術指導のほか、スキー場でのマナーについても指導を受けた。
　また、１０日には、七飯スキー連盟主催のジュニアスキー検定があり、スキー教室を受講した児童４４名が受験した。

○　１月８日、渡島教育局による令和８年度（２０２６年度）当初管理職第２次人事協議が行われ、町立学校管理職の異動対象者について、教育長へ意見等の聞き取りが行われた。

○　１月１０日、七飯町老人クラブ連合会主催による令和７年度七飯老人クラブ連合会新春懇親会と交流研修会が函館市内にて開催され、教育長が出席した。

○　同日、函館地区吹奏楽連盟主催の第４７回北海道管楽器個人及びアンサンブルコンテスト函館地区大会が函館市芸術ホールにおいて開催された。なお、結果は資料に記載のとおりである。

○　１月１１日、２０２６年七飯町二十歳の集いを文化センターで執り行い、１８０名の新成人参加のもと式典を開催し、社会人としての節目に気持ちを新たにした。式典終了後の実行委員会による「語らい広場」では、久しぶりの友人や恩師と笑顔で再会し、大いに語らっていた。

○　日程第３報告第１号、教育行政動向報告について何か質問、確認したい点はあるか。

■加屋本委員

○　かるた大会やスキー教室が行われたとのことであるが、それぞれ現状及び昨年からの参加者の推移を教えて欲しい。

■花巻生涯教育課長

○　かるた大会は昨年と比較し、チーム数及び人数どちらも減少傾向にある。また、少子化により子ども会自体が解散している地区もある。過去に参加人数が多かった時には、地区ごとの予選をし、さらにチャンピオン大会を開催していた。

■高橋スポーツ振興課長

○　スキー教室は昨年度は１１３名が参加している。参加者数は横ばいで、比較的人気のあるイベントである。

■倍楼教育長

○　かるた大会は、地域の子ども会自体が少子化により活動できない状況にある。かるた大会に出場している子どもたちは、友だち同士でチームをつくりたいため、地域子ども会では、当該地域以外の子ども達も一緒に練習しているところもある。

■花巻生涯教育課長

○　かるた大会の周知方法は、学校を通じてお知らせをしているほか、子ども会に対してお知らせもしている。ホームページでも地域ごとの子ども会の紹介などを掲載しているところ。渡島地域の子ども会連合会に入っている市町村が、七飯町、函館市（市としては入っていないが児童館単位で入っている）、松前町、八雲町と、地域の全ての市町村が連合会に入っているわけではない状況も、参加者減少の背景である。

■財津委員

○　１２月２０日の「子どもクリスマスのつどい」はどれくらい歴史があるイベントなのか。また、周知はどのようにして行っているか。

■花巻生涯教育課長

○　冬休み前に学校を通してお知らせしている。歴史的なところでいうと、現在何回目かは現在手元に資料がないが、今回は２０組を定員として募集をかけており、２５名～４０名と程よい人数が参加している状況である。今年は親子連れだけではなく放課後デイサービスからの参加があり、その指導員と児童３名が参加した。昨年は手作りでスノードームを作ったが、今年はペーパークラフトでクリスマスツリーを作ったりと、七飯町レクリエーション協会にお願いをして、クリスマスにちなんだ手遊びをしたり、歌を歌ったり、開催年によってバラつきはあるものの、申し込みは比較的定員通り来る印象である。参加対象者は小学生以下で、周知は広報及び町公式ラインにて行っている。

■信夫委員

○　教育行政動向報告には記載がないが、総合的学習の一環として行っている夢のあるまちプロジェクトは、今年は現実路線でテーマを絞って行ったようで、なかなか質の高い発表をしていたと感じた。生徒が同じ土俵で取り組んでおり、その中の一つが何かかたちになるといいと感じている。今後の方向性は。

■柴田学校教育課長

○　現時点でまだ今後の方向性は決まってはいないが、現在は中学校の生徒による発表が主だが、小学校から継続して取り組む流れを考えている。生徒の話し合いの序盤では、〇〇を建ててほしいとか、〇〇があればいいという方向に行きがちだが、指導主事の先生方の指導によって、さらに踏み込んだ具体的な内容で取り組むことができるようになってきていると感じている。私共も子どもたちの考えたアイデアを一つでも拾うことができればいいなという思いでいる。参加したのは町長、商工労働観光課関係の分野や政策推進課の分野にもわたるため、各関係課の職員も参加している。

■加屋本委員

○　１月７日から９日にかけて行われた七飯町小学生スキー教室について、スキー場でのマナーについても指導を受けていたというところに関連して、小樽市のスキー場で屋外のエスカレータに右腕を巻き込まれて５歳の子供が亡くなる事故に関連し、グリーンピア大沼や函館七飯スノーパークでは、注意喚起等を行っているか、わかる範囲で教えていただきたい。

■髙橋スポーツ振興課長

○　今回の事故に関して、道教委等からは特段通知文は今のところ来ていない状況である。

■加屋本委員

○　気になっている理由の一つとして、七飯町では三木町との交流事業が控えており、三木町の児童がスキー場を利用した際に、万が一のことがないか心配であったことから質問したもの。

○　１月７日に開催された南渡島消防事務組合七飯消防出初式では、伝統的な技に取り組む姿がみられたが、これは昔からの恒例行事であるか。

■磯場教育監兼教育総務課長

○　恒例行事として開催しており、演目では放水訓練やはしご昇りがあるが、強風等で中止したり室内で行うことがある中でも続けてきた行事である。

■加屋本委員

○　本行事は７日に行われたが、広報ななえのカレンダーのレイアウトが８日開催のように見えるレイアウトだと感じたため、それによって来られなかった方がいれば残念だと感じた。開催案内は出しているか。

■磯場教育監兼教育総務課長

○　当日は学童や保育所等が見に来ているようだが、案内を出しているかどうかまではこの場では資料がなく正確な情報をお伝えすることが難しい。

■加屋本委員

○　こういった伝統的な行事は滅多にみられないのではないかと推察するため、貴重なイベントだと感じており、より多くの子どもたちに見てみらえたら嬉しいと感じる。

■信夫委員

○　１月１１日に執り行った２０２６年七飯町二十歳の集いは、今年は当日参加者は多かったか。

■花巻生涯教育課長

○　今年は対象者２７４名のうち１８０名が参加したのに対し、昨年は対象者は今年とほぼ同程度だったが当日１５０名程度が参加したことから、昨年と比較し参加者は多かった。町内に住所があり、二十歳の人が参加対象者の要件である。事業者からは、従事している技能実習生は参加できるかどうかという問い合わせがあった。参加要件を満たしていれば参加できるのに加え、住所がわかる方であれば事前に案内を送付していたところ。

■信夫委員

○　その方たちの生まれた国に成人式はあるだろうか。

■花巻生涯教育課長

○　成人式の有無は国によって異なると思うが、本イベントには同年代が参加することから、これをきっかけに交流が生まれれば、狙い以上の効果になるのかなと考えている。

■加屋本委員

○　ニュースを見ていると、とてもいい取り組みをしている成人式が全国にあるようだ。式の中でどんなことをするかは、大人側から提示するといいのではないかと感じている。例えば大阪では大人の階段を上ることにかけて、アベノハルカスを階段を使って上る取組みがあったようだ。振袖に運動靴等の格好で６１人が参加したとのこと。七飯町も思い出の給食の取組があるが、実行委員の方が参画する際に、全国の他市町村の取組みはアイデアを出す際の参考になるのではないかと考える。

■花巻生涯教育課長

○　参考にさせていただきたい。目下の課題としては、実行委員長をやっていただける方が年々減っていること。少子化の傾向にあることから、他の自治体でも同様の悩みを抱えている。今回は木村委員の御子息にご協力いただきまして誠にありがとうございました。当日までの打合せは Zoom を使い行っているが、初顔合わせがイベント前日と直前になってしまう等の悩みがある。

■倍楼教育長

○　日程第３報告第１号、教育行政動向報告について、報告済とする。

○　次に、日程第４議案第１号、令和７年度教育費補正予算に係る専決処理について教育総務課長から説明を求める。

■磯場教育監兼教育総務課長

○　令和７年度教育費補正予算を別紙のとおり町長に提出することについて、教育委員会の職務権限に属する事務の一部を教育長に委任する規則第２条第２項の規定に基づき専決処理したので、同条第３項の規定によりこれを報告し、承認を求めるもの。

○　それでは、３ページをご覧いただき、はじめに１０款：教育費、２項１目：学校管理費の「小学校管理運営費」は、今後の執行見込みにより、燃料費：重油から事務機器等修繕料まで、合わせて１，１８１万円を追加。「校舎等営繕費：小学校」は、各小学校の設備又は機器の故障を修繕するため、校舎他修繕料に１０１万５千円を追加。

○　３項１目：学校管理費の「中学校管理運営費」は、今後の執行見込みにより、燃料費：重油から事務機器等修繕料まで、合わせて４３９万２千円を追加。

○　４項２目：文化振興費の「図書室管理費」は、今後の執行見込みにより、消耗品費に１２万７千円を追加。「公民館管理費」は、峠下公民館の外壁及び屋根の破損を修繕するため、施設修繕料に１０１万５千円を追加。

○　４項３目：社会教育施設振興費の「文化センター管理費」は、今後の執行見込みにより、燃料費及び電気料に、合わせて２０９万１千円、施設修繕料は、消防用設備の避難誘導灯の交換修繕に２２０万円をそれぞれ追加。「大沼婦人会館管理費」は、今後の執行見込みにより、燃料費及び電気料に、合わせて５６万２千円、施設修繕料は、消防用設備の消火栓ポンプ用ブレーカーの交換修繕に２９万７千円をそれぞれ追加。

○　４目：文化財保護費の「歴史館管理費」は、今後の執行見込みにより、燃料費及び電気料に５２万３千円を追加。

○　４ページに移りまして、５項１目：保健体育総務費の「スポーツ振興総務費」は、今後出場が予定される全道大会及び全国大会の出場者への参加助成金として、スポーツ振興補助金に５３万円を追加。「スポーツ合宿事業費」は、渡島地域Ｊリーグ合宿誘致視察調査団として、シーズン前合宿の現地受け入れ態勢の視察旅費に２１万９千円を追加、自動車借上料は、今年度の陸上実業団チームの合宿が終了したことから３３万１千円を減額。「東大沼多目的グラウンド管理費」は、グラウンド管理に使用する芝刈り機のリールマスターを交換するため、施設機械修繕料に１１６万２千円を追加、グラウンド維持管理委託料は、入札の執行残９８万３千円を減額。

○　２目：学校給食費の「学校給食センター運営費」は、今後の執行見込みにより、燃料費及び電気料に２９１万７千円を追加。

■佰楼教育長

○　日程第４議案第１号について、何か質問、確認したい点はあるか。

■加屋本委員

○　１０款全体でみると５項の保健体育費の予算額が多い印象を受けるが、給食費関係の影響か。

■福永給食センター長

○　まず、給食センターの予算構成上は、給食センターの維持費用を一般会計でみておりそれに占める委託料の割合が大きいという特色がある。需用費は燃料費や電気料について計上しているが、給食センターはオール電化であることから物価高騰による影響を受けての補正予算の増額を行っており、合わせて２億５千万円の予算額となっているところ。

■佰楼教育長

○　制度上、基本的には保護者等から徴収する給食費はその食材費に充てるべきもので、それ以外の給食センターの維持等にかかる経費は町が負担することになっている。令和７年度は国の経済対策のための重点支援交付金を活用し、小中学校の給食費無償化を行っていることから、予算額が多くなっている状況である。

○　日程第４議案第１号について、原案のとおり決定する。

○　これで、定例会を終了する。

■閉会宣言

○　午後５時２０分